

2013年 石炭灰有効利用シンポジウム

主催 一般財団法人 石炭エネルギーセンター

我が国の一次エネルギー源の2割を占める石炭の燃焼により発生する石炭灰有効利用について、来る11月26日(火)に、「2013年石炭灰有効利用シンポジウム」を開催致します。

今回のシンポジウムは2部構成で、第1部は、「震災復興における石炭灰の活用動向」、第2部は、「最近の石炭灰有効利用技術の動向」となっております。

石炭灰の有効利用は、石炭の円滑な利用を進める上でも重要な事項であり、循環型社会の形成にも大きく資するものであります。

現状、石炭灰の主要な有効利用先はセメント原料となっておりますが、今後、土木建築分野等、他の分野への有効利用拡大が強く望まれております。

本シンポジウムが、皆様方の石炭灰有効利用促進の一助となることを期待し、多くの方の皆様方のご参加をお願い申し上げます。

参加申込要領

1. 日時

2013年11月26日(火) 9:30~17:00(会場受付 9:00~)

2. 場所

科学技術館 サイエンスホール (地下2階)

東京都千代田区北の丸公園2番1号

(<http://www.jsf.or.jp/map/>)

3. 費用

参加費無料

4. 参加申込締切日

平成25年11月15日(金)

5. 申込方法

添付参加申込書(Excel)より E-mail fly-ash_coal@jcoal.or.jp 又 FAX 参加申込書(word)でお申し込みください。

いずれの方法でも、受付番号をお送りしますので、当日受付にて提示ください。

6. 問合せ

(一財)石炭エネルギーセンター 技術開発部 仲 一夫

TEL:03-6402-6103 FAX:03-6402-6111

2013年11月26日(火)

『2013年 石炭灰有効利用シンポジウム』プログラム(案)

09:00~09:30	(30)	<参加登録>
09:30~09:40	(10)	<開会挨拶> 並木 徹 (一財)石炭エネルギーセンター 理事長
09:40~09:50	(10)	<来賓挨拶> 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石炭課
【第1部：震災復興における石炭灰の活用動向】		
09:50~10:30	(40)	<基調講演> 久田 真 『震災復興の現状と今後の課題』 東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻 教授
10:30~11:00	(30)	<講演-1> 樋野 和俊 『仙台港南岸防潮堤へのHiビーズの適用』 中国電力株式会社 電源事業本部(環境材料担当)[石炭灰有効利用] マネージャー
11:00~11:40	(40)	<講演-2>
	(20)	坂本 守 『石炭灰混合材料の防潮堤への適用試験の概要』 _____ [それぞれの取組み紹介] 株式会社 安藤・間 土木事業本部 土木設計部 基礎技術グループ長
	(20)	佐々木 徹 『石炭灰混合材料の防潮堤への適用試験の概要』 _____ 株式会社 大林組 土木本部 生産技術本部 技術第二部 上級主席技師
11:40~12:10	(30)	<講演-3> 柳葉 正八 『震災復興資材としてのJアッシュの適用』 常磐共同火力株式会社 勿来発電所 石炭灰利用G グループリーダー
12:10~13:30	(80)	<休憩：昼食>
【第2部：最近の石炭灰有効利用技術の動向】		
13:30~14:00	(30)	<講演-4> 鳥居 和之 『北陸地方におけるフライアッシュのコンクリートへの有効利用促進検討委員会の活動と成果』 金沢大学理工研究域 環境デザイン学系 教授
14:00~14:30	(30)	<講演-5> 佐藤 嘉昭 『石炭灰の改良技術』 大分大学工学部福祉環境工学科 教授
14:30~15:00	(30)	<講演-6> 市川 和芳 『ガス化スラグの有効利用』 (一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所 上席研究員
15:00~15:15	(15)	<休憩>
15:15~15:45	(30)	<講演-7> 中下 明文 『クリンカアッシュの有効利用状況について』 中国電力株式会社 電源事業本部(土木材料担当)[石炭灰有効利用] マネージャー
15:45~16:15	(30)	<講演-8> 小林 忠司 『非JISフライアッシュの2次製品への活用』 前田製管株式会社 品質・安全管理部 部長
16:15~16:45	(30)	<講演-9> 黒田 泰弘 『博多駅再開発事業での活用事例』 清水建設株式会社技術研究所 構造・生産技術センター 革新材料G グループ長
16:45~16:55	(10)	<技術総括> 長瀧 重義 東京工業大学 名誉教授
16:55~17:00	(5)	<閉会挨拶> 加藤 元彦 (一財)石炭エネルギーセンター 専務理事